

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4109068号
(P4109068)

(45) 発行日 平成20年6月25日 (2008. 6. 25)

(24) 登録日 平成20年4月11日 (2008. 4. 11)

(51) Int. Cl.

F 1

A 6 1 F 5/44 (2006. 01)

A 6 1 F 5/44 H

A 6 1 F 5/453 (2006. 01)

A 6 1 F 5/453

A 6 1 F 5/455 (2006. 01)

A 6 1 F 5/455

A 4 1 B 9/12 (2006. 01)

A 4 1 B 9/12 E

A 6 1 F 13/15 (2006. 01)

A 4 1 B 13/02 R

請求項の数 6 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2002-287462 (P2002-287462)
 (22) 出願日 平成14年9月30日 (2002. 9. 30)
 (65) 公開番号 特開2004-121392 (P2004-121392A)
 (43) 公開日 平成16年4月22日 (2004. 4. 22)
 審査請求日 平成17年5月19日 (2005. 5. 19)

(73) 特許権者 000115108
 ユニ・チャーム株式会社
 愛媛県四国中央市金生町下分 1 8 2 番地
 (74) 代理人 100066267
 弁理士 白浜 吉治
 (72) 発明者 河田 ひかり
 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1
 - 7 ユニ・チャーム株式会社テクニカル
 センター内
 (72) 発明者 和田 一郎
 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1
 - 7 ユニ・チャーム株式会社テクニカル
 センター内

審査官 新井 克夫

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】尿誘導シート

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

縦方向及びこれに直交する横方向を有し、前記横方向へ延びるシート状の連結部と、前記縦方向へ延び、第 1 端部と第 2 端部とを有し、互いに前記横方向に並行して延びていて、尿を前記第 1 端部から前記第 2 端部へ流れるように誘導する複数条の帯片からなる短冊状の尿誘導部とを含み、前記尿誘導部における前記帯片は、前記第 1 端部どうしが前記連結部に連結されている尿誘導シート。

【請求項 2】

前記帯片が該帯片の幅方向よりも前記第 1 端部から前記第 2 端部へ向かう長さ方向へ前記尿を容易に拡散できるものである請求項 1 記載のシート。

【請求項 3】

前記帯片が繊維の集合体であって、その繊維が前記縦方向へ配向している請求項 1 または 2 記載のシート。

【請求項 4】

前記帯片が疎水性の繊維で形成されている請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のシート。

【請求項 5】

前記帯片が前記疎水性の繊維と親水性の繊維とを含む請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載のシート。

【請求項 6】

前記連結部の片面に接着剤および粘着剤のいずれかが塗布されている請求項 1 ～ 5 にい

ずれかに記載のシート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、使い捨ておむつや吸尿パッド等の体液吸収性着用物品と併用し、尿が排泄された直後に、尿の流れを着用物品の下方へ向かって誘導することができるシートに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、使い捨ておむつの吸収体には尿の流れをおむつの上方から下方へ向かって誘導することができる圧搾溝を形成することは、例えば特許文献1によって公知である。かかる溝は、尿等の体液がおむつの側方へ流れて漏れるという問題を解消する。

【0003】

【特許文献1】

実開平6-48638号公報

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このような圧搾溝は、使い捨ておむつに予め形成されているものであって、当然のことながら、圧搾溝がないおむつを購入した場合には、圧搾溝による効果を利用することができない。

【0005】

この発明が課題とするのは、圧搾溝によらなくても体液吸収性着用物品における尿の流れを誘導できる簡易な手段の提供である。

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するためのこの発明は、物に係る発明と、その物の使用方法に係る発明とからなる。

【0007】

前記物に係る発明において、この発明が特徴とするところは、縦方向及びこれに直交する横方向を有し、前記横方向へ延びるシート状の連結部と、前記縦方向へ延び、第1端部と第2端部とを有し、互いに前記横方向に並行して延びていて、尿を前記第1端部から前記第2端部へ流れるように誘導する複数条の帯片からなる短冊状の尿誘導部とを含み、前記尿誘導部における前記帯片は、前記第1端部どうしが前記連結部に連結されている尿誘導シートである。

【0008】

かかる発明には、次のような好ましい実施態様がある。

(1) 前記帯片が該帯片の幅方向よりも前記第1端部から前記第2端部へ向かう長さ方向へ前記尿を容易に拡散できるものである。

(2) 前記帯片が繊維の集合体であって、その繊維が前記縦方向へ配向している。

(3) 前記帯片が疎水性の繊維で形成されている。

(4) 前記帯片が前記疎水性の繊維と親水性の繊維とを含む。

(5) 前記連結部の片面に接着剤および粘着剤のいずれかが塗布されている。

【0009】

【0010】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、この発明に係る尿誘導シートとその使用方法との詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0011】

図1に斜視図で示された尿誘導シート1は、図において斜めに縦方向へ互いに並行して延びる複数条の帯片2からなる尿誘導部3と、各帯片2の上端部(第1端部)4どうしを

10

20

30

40

50

つないで横方向へ延びる連結部6とを有する。

【0012】

好ましい帯片2は、3～30mmの幅と、50～400mmの長さとを有し、不織布、織布、フィルム、紙等のシート材料によって形成される。このシート材料が不織布または織布である場合には、それらを形成する繊維に疎水性のもの、親水性のもの、疎水性のものと親水性のものの混合物を使用することができる。繊維はまた、帯片2の長さ方向へ配向していることが好ましい。

【0013】

連結部6は、帯片2と同様に不織布や織布、フィルム、紙等のシート材料によって形成され、帯片2の上端部(第1端部)4が接着、溶着、縫合等の手段によって固定されている。図示例の連結部6は、内面シート11と、その裏側に位置する外面シート12とを有し、内面シート11には粘着剤13が塗布されている。図において、連結部6の内外面シート11、12に固定されている複数条の帯片2は、幅方向において互いに隣り合い、厚さ方向において2～3枚が重なり合っている。

【0014】

図2は、着用状態にある尿誘導シート1を示す。尿誘導シート1は、内面シート11がそれに塗布された粘着剤13を介して着用者10の腹部の肌に張り付けられている。帯片2は、着用者10の腹部から下方へ延びて股部で幅が狭くなるように集合して尿道口(図示せず)を覆っている。尿誘導シート1の外側には、体液吸収性の芯材16と、それを挟む透液性内面シート17と不透液性外面シート18とからなる慣用の吸尿パッド19が当てがわれている。かかる吸尿パッド19の外側には、このパッド19を着用者10の股部に密着させておくための、仮想線で示すブリーフ21が着用されている。このように尿誘導シート1が使用されると、排泄された尿が、尿道口の前方に位置する帯片2に当たってこの帯片2を濡らし、その尿がシート1に導かれて帯片2の下端部(第2端部)5へ向かって、換言すると吸尿パッド19の股下域へ向かって流れ、吸尿パッド19の幅方向へ流れることがない。それゆえ、尿誘導シート1を使用すると、吸尿パッド19における尿の横漏れを防ぐことができる。

【0015】

図3は、尿誘導シート1の使用例を示す吸尿パッド19の部分破断斜視図である。吸尿パッド19は、図2のそれと同様に透液性内面シート17と、不透液性の外面シート18と、これら両シート17、18間に介在する体液吸収性の芯材16とを有し、内面シート17の上面17aには、尿誘導シート1の連結部6が接着、粘着、溶着等の接合手段によって取り付けられている。尿誘導シート1は、連結部6が吸尿パッド19における両端部26の一方の近傍に位置し、帯片2が両端部26間に長く延びている。かような吸尿パッド19を使用すれば、尿誘導シート1を図2の如く着用者の肌に貼り付ける必要がない。図の吸尿パッド19は、パッド着用者が慣用の吸尿パッドと図1の尿誘導シート1とを入手すれば、自分で作ることができる。図示例の尿誘導シート1は、帯片2と連結部6とが同じシート材料で作られており、複数条の帯片2が幅方向へ並んでいる。

【0016】

この発明において、吸尿パッド19を対象にして説明した尿誘導シート1は、使い捨ておむつとともに使用することができる。誘導シート1において、帯片2は、その幅方向よりも長さ方向へ尿を速やかに拡散できるものであることが好ましい。そのような帯片2は、帯片2を形成する繊維を帯片2の長さ方向へ配向させることによって得ることができる。繊維は、それが疎水性のものであって帯片2の長さ方向へ配向していると、帯片2の尿の流れを帯片2の下端部(第2端部)5へ向かって導くことが容易になる。かような帯片2は、それが延びる方向を様々に変えることができるから、尿の流れを導くために体液吸収性の芯材に形成される圧搾溝と異なり、尿の流れを導く方向が比較的自由に変えられる。

【0017】

【発明の効果】

この発明に係る尿誘導シートは、それを肌に張り付けたり、吸尿パッドや使い捨ておむつの内面に貼りつけたりすることで、尿の流れを尿誘導シートの帯片が延びる方向へ導くことができるから、この誘導シートを使用すると使い捨ておむつ等における尿の横漏れを簡単に防ぐことができ、体液吸収性の芯材に圧搾溝を形成する必要がなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 尿誘導シートの斜視図。

【図 2】 尿誘導シートの使用状態を示す図。

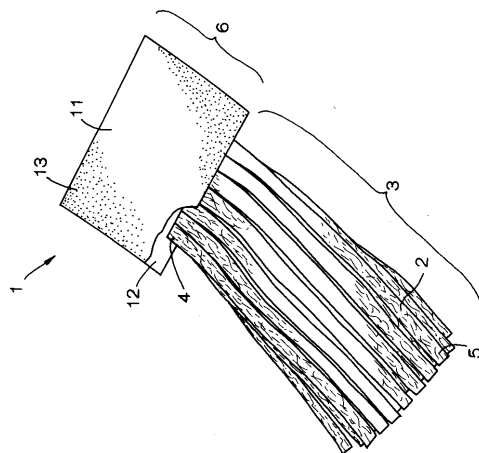
【図 3】 尿誘導シートの使用状態を示す図 2 とは異なる図。

【符号の説明】

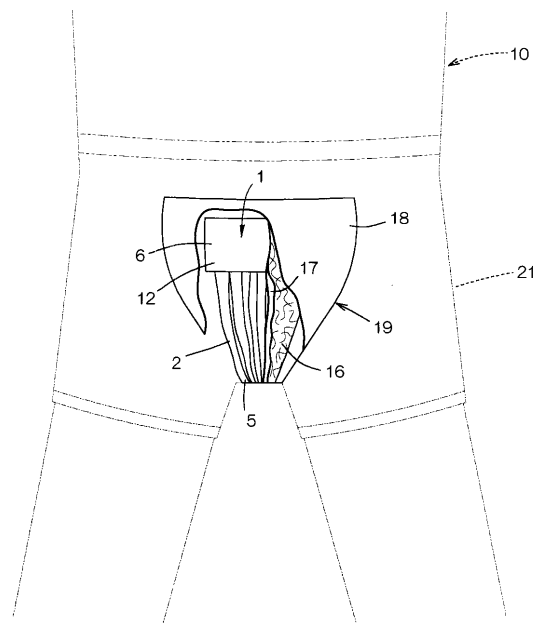
- | | |
|---|--------------|
| 1 | 尿誘導シート |
| 2 | 帯片 |
| 3 | 尿誘導部 |
| 4 | 上端部 (第 1 端部) |
| 5 | 下端部 (第 2 端部) |
| 6 | 連結部 |

10

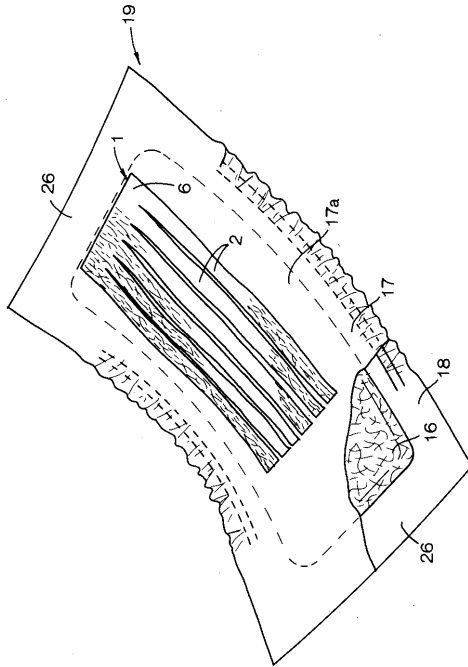
【図 1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2000-093455 (JP, A)
特開2000-135235 (JP, A)
特開平07-116188 (JP, A)
特開平04-082545 (JP, A)
特開平01-011542 (JP, A)
特開昭62-221326 (JP, A)
実開昭62-152713 (JP, U)
特開平11-099176 (JP, A)
特開2000-201959 (JP, A)
特開平07-299088 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A61F 5/44
A41B 9/12
A61F 5/453
A61F 5/455
A61F 13/15